

むすめふさほせ

競技かるたを初めて見る人は、上の句の最初の1、2字を聞いただけで、選手が札を払っているスピードにとっても驚かれます。また、100首全ての和歌を覚えなければいけないのではないかと、苦手意識をもたれる人もいます。確かに100首全て暗記し、歌の情景を思い浮かべながら百人一首を楽しむのはとても素敵なことですね。でも実際の競技かるたでは、一枚一枚の札を和歌として鑑賞しながら取っているわけではありません。選手たちは、「きまり字」というものを覚え、瞬時に音を聞き分けて札を取っています。

最初の1字を聞いただけで取ることができる札を「1字きまり」といいます。1字きまりは、「む・す・め・ふ・さ・ほ・せ」の7枚あります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、この夏の競技かるたの大会等も中止を余儀なくされました。ご家庭で過ごす時間が増え、家族での会話が増えた方も多いと思います。ステイホームの時間の使い方の一つとして、ぜひこの7枚の歌を調べて、家族みんなで覚えてみるというのも有意義ですね。

小野田高等学校小倉百人一首かるた部顧問 青池のぞみ